



2014年新春号
前橋市議会

『飛躍の会』活動報告



<飛躍の会 代表 くぼた 出(いずる)>

議会活動

本会議総括質問一覧

第一回定例会

1.市長の市政運営について

- (1) 居住者増への取り組み

2.観光・物産振興について

- (1) 観光入込客数の現状及び目標
- (2) 経済効果の分析状況と今後の方向性

3.新エネルギー導入促進事業について

- (1) 地中熱等の活用調査研究
- (2) 小水力発電の設置場所

4.国民健康保険税改正について

- (1) 国保保険事業の取り組み
- (2) ジェネリック医薬品の利用促進の取り組み

第二回定例会

1.国際交流について

- (1) ブルガリアとの交流
- (2) 国際交流事業の今後の方向性

2.地域の諸課題について

- (1) 学校設備の仕様
- (2) 五中の仮校舎への通学
- (3) 六供温水プール・六供町コミュニティクラブ
- (4) 千代田町三丁目土地区画整理事業

3.再生可能エネルギーについて

- (1) 再生可能エネルギー導入量

第三回定例会

1.市の政策について

- (1) 観光振興
- (2) 環境政策

2.太陽光発電屋根貸し、土地貸し事業について

3.前橋振興公社について

4.スポーツ振興について



第四回定例会

1.聴覚障害者福祉政策について

- (1) 聴覚障害者に対する取り組み
- (2) 手話言語条例

2.交通政策について

- (1) 前橋駅の乗車数増の取り組み
- (2) パークアンドライド
- (3) EV充電器

3.雇用対策事業について

- (1) 企業見学事業

4.住宅政策について

- (1) ローズタウン
- (2) 駅周辺の空き家活用

部分の項目についての、質疑応答内容を以下にQ&Aとして、記載しています。

建設水道常任委員会質問一覧

第一回

1.六供土地区画整理事業について

2.文京町四丁目土地区画整理事業について

3.二中地区(第三)土地区画整理事業について

4.二中地区(第一)土地区画整理事業について

5.土地区画整理事業について

市内居住者を増やすべエ! 市内居住者の増加への取り組み(第一回定例会)

Q. 移動人口調査の結果、本市ではここ十年、人口流出が人口流入を上回っています。市長の市政運営の先には、この状況に歯止めをかけ、魅力ある前橋をつくり、居住者を増加させていく姿勢があるのか、見解を伺います。

A. 雇用を創出するため、この一年間、いろいろな形で前橋の企業に支援を行いました。雇用創出の上に市民が心豊かに暮らしていけるような都市づくりを目指します。

高崎市との観光消費額差は100億円!

観光・物産振興について(第一回定例会)

- Q. 観光入込客数(観光客)と観光消費額増加に向けた数値目標や具体的な取り組みについて伺います。また、お隣の高崎市と比較して観光客数は約50万人多いが、観光消費額では約100億円、高崎市のほうが多い状況の分析について伺います。
- A. 赤城山ヒルクライムなどのスポーツ大会や、ころとんの活用など観光コンテンツの充実を図り年間700万人の目標値を設定。今後は赤城山観光と都市観光、それぞれの魅力を一体化し前橋の魅力を再認識することを目標に市民の皆様と前橋らしい観光まちづくりに取り組む中で常に高崎市とも比較検討していきたいと考えています。

教育施設には先進的な省エネ環境設備を導入すべき!

第五中学校の設備(第二回定例会)

- Q. 建て替え予定の第五中学校では、ヒートポンプ技術や最先端の省エネ、環境負荷低減設備などの先端技術を導入し、教育的見地から省エネ、環境の学習に役立つ施設にすべきと考えますが見解を伺います。
- A. 先端技術は計画に含まれていないが、省エネ学習の点では、LED照明や人感センサーの設置、環境学習面では環境負荷の少ない木材の使用や太陽光発電設備にモニターを設置し発電量が確認できる設備となっています。今後の施設設備では対費用効果も見極めながら最新技術の導入に関しても配慮していきたいと考えています。

清掃工場延命化だけではなく!

六供温水プールなどの整備方針(第二回定例会)

- Q. 六供温水プールと六供コミュニティクラブは市民の利用が多く、人気のある施設と聞いています。老朽化が進んでいますが、六供清掃工場延命化後の使用期間も視野に入れた今後の整備方針について伺います。
- A. 六供温水プールと六供コミュニティクラブは建築後二十年を超えていることから、老朽化が課題となっています。施設の安全利用を最優先した補修を行うとともに、抜本的な改修を検討します。

初代佐渡ヶ嶽部屋は前橋出身

歴史遺産活用委員会について(第三回定例会)

- Q. 8月に発足した歴史遺産活用委員会では、オール前橋食文化のプロジェクトとして、初代佐渡ヶ嶽部屋佐渡ヶ嶽沢右衛門の墓に因んでちゃんこ鍋などの食文化発掘に取り組む予定とのことですが、文京町にある老朽化したお墓についても文化遺産や観光資産として修繕等を要望しますが、具体的な取り組みについて伺います。
- A. 前橋市産の野菜・肉・醤油・味噌・酒・水など全て前橋の食材でちゃんこを作って、前橋の名物にするというもので、文化・農業・商工業・観光と結びついた付加価値の生産体系を確率する事ができます。現在、初代佐渡ヶ嶽のお墓は区画整理事業区域にありますが、その保存は地域住民の関心事でもありますので意向をよく聞きながら活用策の調査・検討を進めていきたいと考えています。

前橋市出身のオリンピック選手を

スポーツ振興について(第三回定例会)

- Q. 2020年の東京オリンピック開催が決定しました。今後の七年間を特別な期間と捉え、開催時に二十歳前後となる小中学生を対象に、本市出身者がオリンピックで活躍できるような人材育成プロジェクトを検討してはいかがでしょうか。
- A. 国際大会に出場するトップアスリートの育成は、中央競技団体が行っています。本市出身者が活躍すればスポーツ振興にもつながりますが、指導者や専門施設などの課題も多いことから、体育協会と連携し、研究していきます。



【兵庫県姫路市】

建設水道常任委員会視察

【岐阜県岐阜市】

- 水道施設の耐震化について
- 浸水対策について

- 姫路駅周辺地区整備について

阪神淡路大震災後の水道施設の耐震化の進め方や、都市化に伴う保水・遊水機能低下と昨今のゲリラ

豪雨など集中豪雨に対する治水対策を確認するとともに、前橋市でもかねてからの懸案事項である、駅前の周辺整備も併せて視察してまいりました。



- 下水道汚泥焼却灰からのリン回収について

汚泥焼却灰からリンを生産する日本で初めての設備を見学してまいりました。将来的に枯渇するといわれ、国際価格が上昇しているリンを、下水汚泥焼却灰から回収し、リン酸肥料として販売するという全国でもめずらしい取り組みです。産業廃棄物をただ排出するのではなく、資源として利用しているという取り組みは、大変参考になりました。



会派行政視察【富山県富山市】

- 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりについて

合併により面積が大きくなった中で人口減少を迎えた中核市の「まちづくり政策」について、先進的に取り組んでいる富山市での公共交通政策を中心とした取り組み状況を勉強してきました。

ポイントは「いかにコンパクトにしていくか」ということで、コンパクトをキーワードに中心市街地から公共交通を軸とした拠点集中型のまちづくりを実施中とのことでした。特徴としては、駅500mバス停300m範囲を圏域として設定していること。多少なりとも「歩く文化」を根付かせないと公共交通政策は成功しないという認識からですが、車社会である本市におきましても同様のことが言えるかと思えます。



LRT(富山ライトレール)



まちなか自転車レンタル

- 富山競輪民間委託の実施状況について

公営ギャンブルは、一般的に景気低迷などにより赤字転落を機に民間へ委託する施行者(当該市)が全国的に増えてきています。「民間に出来ることは民間に!」との行政施策の観点から委託後の実際の運営状況について確認してきました。

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年2月の前橋市議会議員選挙におきまして、皆様方のお力添えにより初当選させていただき、市議会会派としましては「飛躍の会」として届け出を行い議員活動を開始しました。

一人会派ではございますが、文字通り前橋市及び市民の皆様の飛躍・発展を目指し「千里の道も一歩から」の言葉を胸に抱き活動を行っております。新年を迎え、改めて昨年の議会活動について本会報にて御報告させていただきますのでご一読下さい。

前橋市議会も昨年の選挙によりまして43名から38名と議員定数の削減が行われました。合併により大きくなった本市においては今後、議員と地域との関わり方も少しずつ変化していくと考えております。

また、行政運営においても本格的な少子高齢社会・人口減少社会が到来し市の財政状況はますます厳しくなっていきます。そうした状況下での議員の果たす役割(行政施策のチェック、政策提案等々)も今まで以上に大きなものとなっていくと思われまます。

引き続き、社会状況に臨機に対応し地域の声に真摯に耳を傾けながら、前橋の都市活力再生のため尽力して参ります。 ～飛躍の会代表 くぼた出～



プロフィール 今期初当選の新人です!
よろしくお願ひいたします。

くぼた 出
(窪田 いずる)

S43 前橋市文京町生まれ
前橋市議会議員1期目
建設水道常任委員

「未来育」講演会開催 ～なりたい自分のみちしるべ！ プロフェッショナルと会おう！～

9月7日(土)に第二回「未来育」講演会を開催しました。

この講演会は、飛躍の会(くぼた出)の「子ども達の無限の可能性を引き出すのは大人の役目」という主張に基づき、子ども達の可能性を引き出すため、前橋出身者を中心とした市内外で活躍している人達(医師、弁護士、パイロット、企業家、スポーツ選手、モデル等々)と接する機会を創出し、子ども達の可能性を引き出すお手伝いできればと思い開催しています。

第1部 「ゲームグラフィックへの挑戦～売れるゲームって!?!」

(講師:専門学校講師/根岸 豊さん) ※根岸さんは世界的なゲーム「メタルギアソリッド」のグラフィックデザイナーでした。

第2部 「高度1万メートルへの挑戦」(講師:JAL機長/宇賀地 竜哉さん)

デザイン関係の仕事につきたいと思っていた根岸さんは、大手ゲームメーカーに入社した後、今は専門学校にて次世代のクリエイターを育てる先生となっています。就職前には「好きなことを職業として実現する」ために「ひたすら好きな絵を描き続けた」そうです。チャンスを得るためにはすべてにおいて「日々の努力」と「実現のためにはあきらめない心」が必要と話されました。

パイロットになりたい、という小学校の頃の夢を叶えた宇賀地さんからは、「職業としては比較的安定した職であること」や、パイロットになるためには「文系、理系は関係なく広範囲な人がなれるチャンスがある」、「そのためにきちんとした情報を収集することが大事」ということをお聞きしました。宇賀地さんもまた、「最後まであきらめない気持ちが大切」だと締めくくられました。



当日は、宇賀地機長の制服、制帽も持参いただき記念撮影をしたり、根岸先生の自作の絵ハガキをプレゼントしてもらったりと子供たちも大喜びでした。

今回の講師お二人からは「こうした機会(講演)を得られ、育ててもらった故郷に少しでも恩返しができることは嬉しい!感謝している」というお言葉をいただきました。こうした気持ちを持った、東京などで活躍している同郷人がいることを、本当に嬉しく思いました。

今後色々な方々をお招きして、「どうしてその職業になろうと思ったのか?」「なるためにどんな努力をしたのか?」などの視点で子供たちや親御さんたちに向けてメッセージを発信していきたいと思えます。



「未来育」～子供たちの未来を育むための大人からの大切なメッセージの場とし、無限の可能性を引き出すきっかけの場として今後も開催していきます。



発行・編集 前橋市議会 飛躍の会

住所/前橋市大手町2-12-1 電話/027-898-6980

【この広報誌の制作・配布には政務活動費を使用しています。】

ブログ <http://kuizrising.gunmablog.net/>

Facebook <http://www.facebook.com/izuru.kubota1>